

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-504425 (P2005-504425A)

【公表日】平成 17 年 2 月 10 日 (2005.2.10)

【年通号数】公開・登録公報 2005-006

【出願番号】特願 2003-531580 (P2003-531580)

【国際特許分類】

H 0 1 B 17/58 (2006.01)

H 0 1 B 17/56 (2006.01)

H 0 1 R 13/56 (2006.01)

H 0 2 G 1/14 (2006.01)

【F I】

H 0 1 B 17/58 F

H 0 1 B 17/56 J

H 0 1 R 13/56

H 0 2 G 1/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 8 月 30 日 (2005.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 外径よりも大きい第 2 外径を有する第 2 ケーブル (1 6) に接続される、第 1 外径を有する第 1 ケーブル (1 8) を含むケーブル接続のための冷収縮被膜であって、

第 1 ケーブル (1 8) の一部およびケーブル接続の第 1 部分を受け入れるサイズである、第 1 の中空の押しつぶし可能な支持物 (3 2) 上に拡張状態で保持される第 1 弾性管形部材 (2 4) と、

第 2 ケーブル (1 6) の一部、ケーブル接続の第 2 部分、および第 1 弾性管形部材 (2 4) の端部を受け入れるサイズである、第 2 の中空の押しつぶし可能な支持物 (3 4) 上に拡張状態で保持される第 2 弾性管形部材 (2 6) と、

を含み、

第 1 支持物 (3 2) は力を加えている間につぶれるように構成されて、第 1 弾性管形部材 (2 4) が、第 1 ケーブル (1 8) の一部およびケーブル接続の第 1 部分を覆うために収縮することが可能となり、第 2 支持物 (3 4) は力を加えている間につぶれるように構成されて、第 2 弾性管形部材 (2 6) が、第 2 ケーブル (1 6) の一部、ケーブル接続の第 2 部分、および第 1 弾性管形部材 (2 4) の端部を覆うために収縮することが可能となる冷収縮被膜。

【請求項 2】

第 1 外径よりも大きい第 2 外径を有する第 2 ケーブル (1 0 4) に接続される、第 1 外径を有する第 1 ケーブル (1 0 2) を含むケーブル接続のための冷収縮被膜であって、

管形突出部分 (1 1 6) に対向する内部管形延長部分 (1 1 4) を含み、ケーブル接続の少なくとも一部を囲むサイズである接続受入れ溝 (1 1 8) をさらに含むアダプタ (1 1 0) と、

第 1 ケーブル (1 0 2) の一部および内部管形延長部分 (1 1 4) の一部を受け入れる

サイズである、第 1 の中空の押しつぶし可能な支持物 (1 2 2) 上に拡張状態で保持される第 1 弾性管形部材 (1 2 0) と、

第 2 ケーブル (1 0 4) の一部、および管形突出部分 (1 1 6) の一部を受け入れるサイズである、第 2 の中空の押しつぶし可能な支持物 (1 2 2) 上に拡張状態で保持される第 2 弾性管形部材 (1 2 4) と、

を含み、

第 1 の中空の押しつぶし可能な支持物 (1 2 2) は力を加えている間につぶれるように構成されて、第 1 弾性管形部材 (1 2 0) が、第 1 ケーブル (1 0 2) の一部および内部管形延長部分 (1 1 4) の一部を覆うために収縮することが可能となり、第 2 支持物 (1 2 2) は力を加えている間につぶれるように構成されて、第 2 弾性管形部材 (1 2 4) が、第 2 ケーブル (1 0 4) の一部、および管形突出部分 (1 1 6) の一部を覆うために収縮することが可能となり、それによってケーブル接続を覆うために、第 1 弾性管形部材 (1 2 0) と第 2 弾性管形部材 (1 2 4) との間にアダプタ (1 1 0) を保持する冷収縮被膜。

【請求項 3】

第 1 外径よりも大きい第 2 外径を有する第 2 ケーブル (1 6) に接続される、第 1 外径を有する第 1 ケーブル (1 8) を含むケーブル接続のための冷収縮被膜であって、

第 1 ケーブル (1 8) の一部およびケーブル接続の第 1 部分を受け入れるサイズである、第 1 の中空の押しつぶし可能な支持物 (7 2) 上に拡張状態で保持される第 1 弾性管形部材 (2 4) と、

第 1 の中空の押しつぶし可能な支持物 (7 2) と一体に形成されて、第 2 ケーブル (1 6) の一部、およびケーブル接続の第 2 部分を受け入れるサイズである、第 2 の中空の押しつぶし可能な支持物 (7 4) を有するマルチゾーン支持芯 (7 0) を与える、第 2 の中空の押しつぶし可能な支持物 (7 4) 上に拡張状態で保持される第 2 弾性管形部材 (2 6) と、

を含み、

第 1 支持物 (7 2) は圧力を受けてつぶれるように構成されて、第 1 弾性管形部材 (2 4) が、第 1 ケーブル (1 8) の一部およびケーブル接続の第 1 部分を覆うために収縮することが可能となり、第 2 支持物 (7 4) は圧力を受けてつぶれるように構成されて、第 2 弾性管形部材 (2 6) が、第 2 ケーブル (1 6) の一部、およびケーブル接続の第 2 部分を覆うために収縮することが可能となる冷収縮被膜。

【請求項 4】

第 1 外径を有する第 1 ケーブル (1 8) 、および第 1 ケーブル (1 8) への結線を有する第 2 ケーブル (1 6) を含み、第 2 ケーブル (1 6) は第 1 外径と異なる第 2 外径を有する、ケーブル接続のための予め取り付けると共に予め引き伸ばした被覆であって、

第 2 押しつぶし可能な部分 (7 4) から押しつぶせない移行帯 (7 6) によって分離される、第 1 押しつぶし可能な部分 (7 2) を含む支持物 (7 0) と、

第 1 押しつぶし可能な部分 (7 2) をほぼ覆い、かつ押しつぶし不能な移行帯 (7 6) の第 1 部分内に延びる第 1 収縮可能管形部材 (2 4) と、

第 2 押しつぶし可能な部分 (7 4) および押しつぶし不能な移行帯 (7 6) の第 2 部分をほぼ覆い、かつ第 1 収縮可能管形部材 (2 4) と重なるように構成されて、それとの間で重なる継ぎ目 (7 8) を形成する第 2 収縮可能管形部材 (2 6) と、

を含む予め取り付けると共に予め引き伸ばした被覆。